

行事予定表		
1	金	お泊まり保育
2	土	お泊まり保育
3	日	
4	月	
5	火	ピヨピヨひろば/巡回相談/給食費振替日(3歳児以上)
6	水	読み聞かせ(5歳児)
7	木	交通安全教室(5歳児)
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	
13	水	
14	木	カレーの日
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	敬老の日
19	火	
20	水	お弁当とデー
21	木	通報訓練
22	金	
23	土	秋分の日
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	リトミック
28	木	誕生会
29	金	
30	土	

「不急不要の外出は控えて」いつか、盛んに聞いた警告が復活。コロナが規制解除になったが今度は、熱中症の危険が。人類はさんざん辛苦をなめてきたのにまた、反省もせず、戦禍におとしこまれる嘘と欺瞞の独裁者に騙されている。人が包丁を持ち歩くだけで逮捕されるのに世界中が武力を増強している核を全廃せよと叫ぶ声抑止力などありえない戦争が廊下の奥に立っている(渡辺白水)気が付いた時はもう遅い、身近に迫っている取返しのつかない環境破壊・気候変動・戦争私達は子ども達に何を残すのか早く爽やかな秋をと思いながら猛暑と豪雨の夏に、暑さに耐え子ども達の未来を祈った



今月の予定の中から...

●アルファアミを食べよう。(4日)
今年も、防災の日(9/1)にちなみ、アルファアミとけんちん汁、そして離乳食の子は、備蓄品のお粥を食べます。もしもの時に備えることの大切さを伝えていきます。

●お泊まり保育(1日~2日)
4月から子ども達が楽しみにしていたお泊まり保育!みんなで力を合わせて保育園に泊まります。夕飯や次の日の朝食の買い物にカスミに行き、夕飯作りもグループごとに行います。きりんグループからは、手作りのお守りを受け取り、気合のいいお守りグループです。ホールに向かう階段のわきには「ぞうグループの旗」も飾っていますが、全クラスのロゴやクラスカラーが入っています。皆の憧れのぞうグループさんを、小さいクラスの子ども達も応援しています。

●カレーの日(14日)
4・5歳児は、エプロン・三角巾の用意は子ども達が出るように見守って下さいね。自分の事を自分でする習慣がつくまでは、大人が確認し、出来た時にはたくさん褒めましょう。

●おべんとうデー(20日)
まだまだ暑い日が続きます。お弁当の中身にも気をつけ、よく冷ました後に、保冷剤を入れて持たせてください。くれぐれも、要冷蔵のものは避けてください。

●リトミック(27日)
子ども達は、日常の中で音を感じ、身体で表現する楽しさを感じているようです。最近では、ピアノの音に合わせて自然に身体が動かし楽しんでいきますよ。



●誕生会(28日)

今月は、「ケチャップマヨネーズ」のコンサートです。費用は、保護者会費より出して頂きます。いつもありがとうございます。
☆今年の十五夜は「9月29日」
お月様の中には何が見えるかな?
お子さんと是非ご覧くださいね。
★お礼
保護者会より、満彩加先生の結婚祝いと唯根梨奈先生の出産祝いを頂きました。どうもありがとうございます。



「競争」

私の机の前に、一枚の写真がある。満面の笑みで走るI君と、私と手をつないで楽しそうに走るK君とのリレーの一場面である。▼9月になると、園では一斉に運動会ごっこが始まる。全ての子が全種目に加わってくる。リレーにも、年少児が割り込んできて、どこが先頭か分からない、ゴチャゴチャのいつまでも終わらないエンドレスリレーである。入園当初はヨタヨタ赤ちゃん走りをしていた年少児も、格好よく軽快に走っている。競い合うというより、ただ走ることを楽しんでいる。▼「僕は一番早いんだよ!」と一人が言う、誰もが「僕も一番!」と言い出す。幼児期は、誰もが「自分はすごいんだ。自分が一番」と思えることが健全である。しかし、年長児になると、そうはいかなくなる。現実が・・・、自分と他人が分かってくる。それでも、幼児期は「僕はすごいんだ!何でもやればできる。」と思うこと、自尊心・意欲を育てることが大事である。▼過度に競わせることは適切でない。その子なりの得意分野で認められていれば良いが、狭い分野だけが注目され、そこでのみ優劣をつけられると、ダメージが強くなってしま

年長児によるクラス対抗リレーは、運動会の花形である。子ども同士が競い合うと、保護者も熱狂する。しかし、私の心は複雑。リレーの練習で、I君はいつも他のクラスの子に抜かれてしまう。リレーが終わらない内に、一人みんなから離れ、うなだれて園舎裏の暗い通路に向かっている。I君のくやしき、辛い気持ちが良くわかる。胸が痛くなる。I君の後を追って、園舎の裏へ行き、2人きりになった。「リレーなんかやりたくないのに、全員参加なので、みんなのために、嫌でもやってくれたんだよ。みんなのためにやることは、素晴らしいことだ、立派だよ。そして、みんなに抜かれても、最後まで頑張っていることが、一番大切なことだ。早く走ることより、自分の力を思い切り出すことの方が、ずっと素晴らしい、だからI君が最高、一番!」と伝えると、目に涙をいっぱいにして、私を見つめ、私の足にしがみついて泣いた。私も胸がいっぱいになった。そんなことがあって、I君は私を見つめると、私に気づかないうちに、私の手をにぎっていることが多かった。▼そして、運動会当日、I君と同組で走るK君は、担任の先生と走ることに決まっていた。私はとっさに「私とK君で走らせて!」と告げ、K君の手を取って走り出した。先行するI君に「オーイマター!オマエは早いな」と、K君も声を出して大喜び、I君も満面の笑み、それが私の机の前の写真。運動会終了後、I君は「運動会楽しかった、もう一度リレーやりたい。」と言った。▼子ども達は、狭くなった社会の中で、小さい時から比べられる。誰もが世界に一人しかない存在で、一人ひとり、みんな違う。その子の長所を認め、ほめて、伸ばして、自信をつけてあげたい。

